



2025年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月13日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第1四半期の業績（2024年8月1日～2024年10月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第1四半期	2,089	10.9	△184	—	△175	—	△150	—
2024年7月期第1四半期	1,884	0.1	△312	—	△303	—	△201	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第1四半期	△45.42	—
2024年7月期第1四半期	△62.75	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期第1四半期	8,155	2,205	27.0
2024年7月期	7,512	2,455	32.7

(参考) 自己資本 2025年7月期第1四半期 2,205百万円 2024年7月期 2,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年7月期	—	—	—	—	—
2025年7月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。

3. 2025年7月期の業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,877	6.4	710	12.7	735	11.9	487	9.7	146.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年7月期1Q	3,502,744株	2024年7月期	3,502,744株
② 期末自己株式数	2025年7月期1Q	189,238株	2024年7月期	189,238株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年7月期1Q	3,313,506株	2024年7月期1Q	3,210,205株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期損益計算書に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復、輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化するウクライナ情勢や中東地域の情勢悪化等による資源価格の高騰や円安に伴う物価高の影響などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、円安による商品原価への影響は大きく、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、新業態を含めた新規出店や新たなオーダー商品の開発に取り組んでまいりました。

まず、当第1四半期会計期間における新規出店といたしましては、9月に「GINZA Global Style COMFORT 枚方モール店」と新業態として初出店となる「PREMIUM MARUNOUCHI 本店」の2店舗を出店いたしました。当該2店舗はオープンより多くのお客様にご来店いただいております、順調なスタートを切ることができております。

新業態である「PREMIUM MARUNOUCHI」の特徴といたしましては、都心のハイクラス層向けのエッジの効いた雰囲気の中で、従来のオーダーメニューに加えて、新オーダー商品である「カイザープレミアム」などをご注文いただける点であります。「カイザープレミアム」は、グローバルスタイルの誇る最高級グレード「カイザーモデル」をベースに肩や袖、上衿などの重要な部分にハンドメイドの縫製テクニックを融合して究極の着心地を追求したプレミアムラインであり、当モデルをオーダーメニューに加えることで、より嗜好性の高いお客様の開拓にも取り組んでまいりたいと考えております。

上記の新規出店を含め、当第1四半期会計期間末の店舗数は40店舗となりました。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、20億89百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、上記2店舗の新規出店に伴い、人件費や地代家賃等の経費が増加したことから13億31百万円（同0.9%増）となりました。

損益面につきましては、営業損失1億84百万円（前年同期は営業損失3億12百万円）、経常損失1億75百万円（前年同期は経常損失3億3百万円）、法人税等△59百万円を計上した結果、四半期純損失1億50百万円（前年同期は四半期純損失2億1百万円）となりました。

なお、当社が営むオーダースーツの販売事業は、事業の性質上売上高に季節の変動があり、他の四半期会計期間に比べ、第1四半期会計期間の売上高の割合が低くなる傾向があります。

当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ6億42百万円増加し、81億55百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ5億47百万円増加し、43億57百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金が2億96百万円、商品及び製品46百万円、仕掛金が59百万円、原材料及び貯蔵品が1億29百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、新規出店により前事業年度末に比べ94百万円増加し、37億97百万円となりました。

（負債）

負債につきましては、前事業年度末に比べ8億92百万円増加し、59億49百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ9億29百万円増加し、46億12百万円となりました。主な変動要因は、前受金が4億99百万円及び短期借入金が2億50百万円、買掛金が2億46百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ36百万円減少し、13億36百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が38百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前事業年度末に比べ2億50百万円減少し、22億5百万円となりました。主な変動要因は、四半期純損失を1億50百万円計上し、前期の期末配当99百万円を実施したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期通期の業績予想につきましては、2024年9月13日の「2024年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,354	874,803
受取手形及び売掛金	313,851	610,445
商品及び製品	204,169	250,696
仕掛品	75,303	134,373
原材料及び貯蔵品	2,220,559	2,350,012
その他	105,274	151,085
貸倒引当金	△10,417	△13,602
流動資産合計	3,810,095	4,357,815
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,603,423	1,643,577
その他(純額)	1,016,485	1,044,080
有形固定資産合計	2,619,909	2,687,658
無形固定資産	108,496	105,716
投資その他の資産		
敷金	866,538	837,315
その他	107,315	166,514
投資その他の資産合計	973,853	1,003,829
固定資産合計	3,702,259	3,797,204
資産合計	7,512,354	8,155,019
負債の部		
流動負債		
買掛金	340,359	586,628
短期借入金	1,850,000	2,100,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	155,096	155,096
未払法人税等	106,792	1,671
契約負債	200,202	203,451
前受金	579,226	1,078,288
賞与引当金	-	30,461
その他	431,753	437,338
流動負債合計	3,683,431	4,612,935
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	891,054	852,280
退職給付引当金	52,888	54,023
資産除去債務	229,032	240,449
その他	170,354	159,916
固定負債合計	1,373,329	1,336,668
負債合計	5,056,761	5,949,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	114,843	114,843
利益剰余金	2,355,241	2,105,344
自己株式	△94,772	△94,772
株主資本合計	2,455,313	2,205,415
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	280	-
評価・換算差額等合計	280	-
純資産合計	2,455,593	2,205,415
負債純資産合計	7,512,354	8,155,019

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日)
売上高	1,884,058	2,089,033
売上原価	877,588	945,643
売上総利益	1,006,470	1,143,390
販売費及び一般管理費	1,319,176	1,328,214
営業損失(△)	△312,706	△184,823
営業外収益		
受取利息	7	120
受取配当金	76	76
為替差益	-	1,304
賃貸料収入	20,519	20,837
物品売却収入	2,874	2,757
その他	210	365
営業外収益合計	23,688	25,461
営業外費用		
支払利息	5,676	7,667
為替差損	264	-
賃貸収入原価	6,088	6,134
物品購入費用	1,616	1,451
その他	370	674
営業外費用合計	14,017	15,927
経常損失(△)	△303,035	△175,289
特別損失		
減損損失	-	27,280
事務所移転費用	-	7,240
特別損失合計	-	34,520
税引前四半期純損失(△)	△303,035	△209,810
法人税、住民税及び事業税	1,560	1,705
法人税等調整額	△103,165	△61,022
法人税等合計	△101,604	△59,317
四半期純損失(△)	△201,430	△150,492

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行8行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年10月31日)
当座貸越極度額	5,800,000千円	5,800,000千円
借入実行残高	1,850,000	2,100,000
差引額	3,950,000	3,700,000

（四半期損益計算書に関する注記）

当社が営むオーダースーツの販売事業は、事業の性質上売上高に季節的変動があり、他の四半期会計期間に比べ、第1四半期会計期間の売上高の割合が低くなる傾向があります。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2024年8月1日 至2024年10月31日)
減価償却費	54,602千円	61,035千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。